

都市再生整備計画 事後評価シート

神戸・神鉄沿線地区

令和8年7月

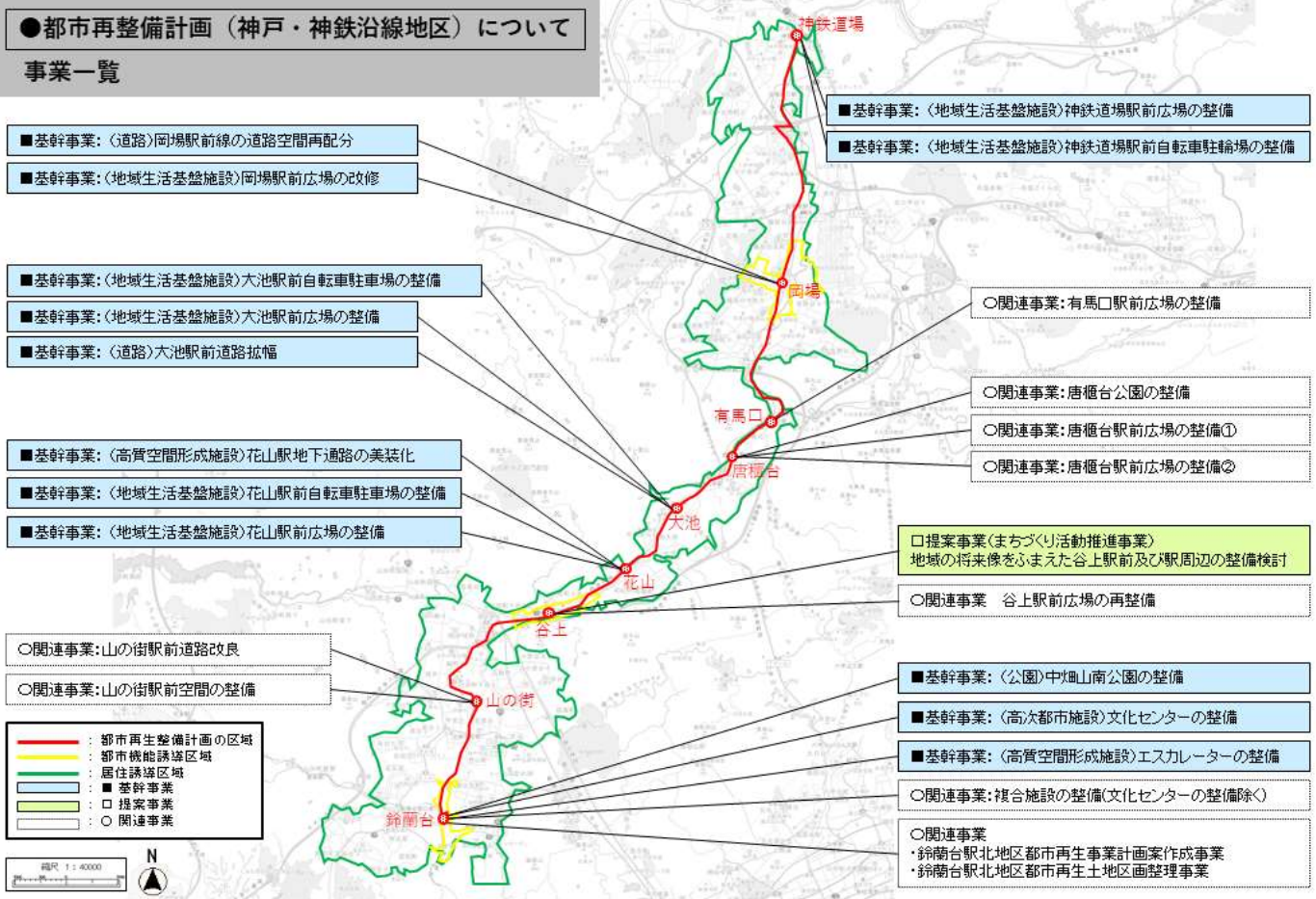
兵庫県神戸市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	神戸市		地区名	神戸・神鉄沿線地区			面積	32.3ha		
交付期間	令和3年度～令和8年度		事後評価実施時期	令和8年度		交付対象事業費	2229.2百万円	国費率	0.495				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路:大池駅前道路拡幅、岡場駅前線の道路空間再配分 地域生活基盤施設:谷上駅前広場の再整備、花山駅前広場の整備、大池駅前広場の整備、岡場駅前広場の改修、神鉄道場駅前広場の整備									
			提案事業	まちづくり活動推進事業:地域の将来像をふまえた谷上駅前および駅周辺の整備検討									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	-		-		-						
	新たに追加した事業	基幹事業	公園:中畑山南公園 地域生活基盤施設:花山駅前自転車駐輪場の整備、大池駅前自転車駐輪場の整備 高質空間形成施設:花山駅地下通路の美装化、エスカレーターの整備 高次都市施設:文化センターの整備		・まちの魅力向上のため ・さらなるまちのにぎわい創出のため		・各目標値(＝従前値)は、整備対象駅の関連数値を使用しており、対象駅の追加(鈴蘭台駅、山の街駅、唐櫃台駅、有馬口駅(関連事業へ移行した駅を含む))に伴い、各目標値(＝従前値)を修正						
		提案事業	-		-		-						
	交付期間の変更	当初	令和3年度～令和7年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	影響なし							
		変更	令和3年度～令和8年度										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	事業実施対象駅の平均駅利用者数	人/日	2,879	H30	2,879	R8		2,715	△	あり なし ●	令和2年度の北神急行市営化によって利用者数の増加が見込まれる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、対象駅周辺における高校の統廃合や市営住宅の再編によって駅利用者数が大幅に減少したことから、目標値の達成には至らなかった。近年は回復傾向にあり、計画策定当初の推移予測と比較すると、減少傾向を抑えることができているため、今後も統計データを継続的に確認しながら、フォローアップを行う予定である。	R9年8月
	指標2	事業実施対象駅周辺の人口	人	※ 76,673	R1	※ 76,673	R8		71,770	△	あり なし ●	近年、市内人口が減少傾向にある中、駅周辺の整備等により改善を図ったものの、十分な効果が発現せず、指標は目標値を下回った。主な要因としては、効果の発現を見込んでいた一部事業が未完了であったことが考えられる。一方で、計画策定当初の推移予測と比較すると、減少傾向を抑えることができている。	R9年8月
	指標3	事業実施対象駅周辺の新規住宅着工数	件	173	R1	173	R8		185	○	あり なし	駅前広場等の再整備により、駅利用者の利便性が向上するとともに、沿線の活性化が図られ、指標の目標値達成につながった。今後も統計データを継続的に確認しながら、フォローアップを行う予定である。	R9年8月
	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	整備したイベントスペースでのイベント実施回数	回/年	0	R2			モニタリング	55 (R7年数値)			整備した駅スペースの活用が進み、にぎわい創出に一定の効果が確認されている。	R9年8月
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	整備を実施した駅においては、駅前空間の活用やイベントの実施により交流人口が増加し、にぎわい創出が図られている。今後は、これらの取組を他駅にも展開し、継続して実施することで、さらなる効果の波及が期待される。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による取組	・神戸市と神戸電鉄との連携協定に基づく取り組み(沿線ニュータウンのオールドタウン化や人口減少などの課題解消に向けた検討)					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	・市と神戸電鉄との連携協定に基づき、駅舎等の再整備に対する補助を行うとともに、沿線の活性化に向け、イベントの実施などソフト面の取組も展開している。引き続き、鉄道駅を中心としたにぎわいのあるまちづくりの推進に向け、地元住民等の意見を反映しながら、駅前空間の活性化を推進する。	
		・まちづくりファンド(民間所有の空き家・空き店舗を活用した地域交流拠点の整備に対する助成金)の実施										・整備を実施した駅前広場と地域交流拠点の一体的な活用により、にぎわいや住みやすさ、まちの魅力の向上を図り、沿線人口の維持および持続可能なまちづくりに取り組む。	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

※指標2「事業実施対象駅周辺の人口」に誤記あり。正しい数値は、従前値:74,375人→76,673人、目標値:74,375人→76,673人

様式2-2 地区の概要

神戸・神鉄沿線地区（兵庫県神戸市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：神戸電鉄沿線の活性化 ○沿線人口の維持		事業実施対象駅の平均駅利用者数	単位：人／日	2,879	H30	2,879	R8	2,715	R8
		事業実施対象駅周辺の人口	単位：人	※ 76,673	R1	※ 76,673	R8	71,770	R8
		事業実施対象駅周辺の新規住宅着工数	単位：件	173	R1	173	R8	185	R8
 花山駅前広場の整備  大池駅前広場の整備  花山駅前自転車駐車場の整備  大池駅前自転車駐車場の整備  花山駅地下通路の美装化  大池駅前道路拡幅 ●都市再整備計画（神戸・神鉄沿線地区）について 事業一覧 ■基幹事業：〈道路〉岡場駅前線の道路空間再配分 ■基幹事業：〈地域生活基盤施設〉岡場駅前広場の改修 ■基幹事業：〈地域生活基盤施設〉大池駅前自転車駐車場の整備 ■基幹事業：〈地域生活基盤施設〉大池駅前広場の整備 ■基幹事業：〈道路〉大池駅前道路拡幅 ■基幹事業：〈高質空間形成施設〉花山駅地下通路の美装化 ■基幹事業：〈地域生活基盤施設〉花山駅前自転車駐車場の整備 ■基幹事業：〈地域生活基盤施設〉花山駅前広場の整備 ○関連事業：山の街駅前道路改良 ○関連事業：山の街駅前空間の整備 ○関連事業：有馬口駅前広場の整備 ○関連事業：唐櫃台公園の整備 ○関連事業：唐櫃台駅前広場の整備① ○関連事業：唐櫃台駅前広場の整備② □提案事業（まちづくり活動推進事業） 地域の将来像をふまえた谷上駅前及び駅周辺の整備検討 ○関連事業 谷上駅前広場の再整備 ■基幹事業：〈公園〉中畑山南公園の整備 ■基幹事業：〈高次都市施設〉文化センターの整備 ■基幹事業：〈高質空間形成施設〉エスカレーターの整備 ○関連事業：複合施設の整備（文化センターの整備除く） ○関連事業 ・鈴蘭台駅北地区都市再生事業計画案作成事業 ・鈴蘭台駅北地区都市再生土地画整理事業  ○関連事業：有馬口駅前広場の整備 ○関連事業：唐櫃台公園の整備 ○関連事業：唐櫃台駅前広場の整備① ○関連事業：唐櫃台駅前広場の整備② □提案事業（まちづくり活動推進事業） 地域の将来像をふまえた谷上駅前及び駅周辺の整備検討 ○関連事業 谷上駅前広場の再整備 ■基幹事業：〈公園〉中畑山南公園の整備 ■基幹事業：〈高次都市施設〉文化センターの整備 ■基幹事業：〈高質空間形成施設〉エスカレーターの整備 ○関連事業：複合施設の整備（文化センターの整備除く） ○関連事業 ・鈴蘭台駅北地区都市再生事業計画案作成事業 ・鈴蘭台駅北地区都市再生土地画整理事業  岡場駅前広場の改修  【現在工事中】 文化センターの整備  中畑山南公園の整備									
まちの課題の変化	駅前空間や公共施設の整備により駅利用者の利便性向上、にぎわい拠点の創出やイベントの実施等によりまちのにぎわいづくりに寄与するなど、一定の効果が得られた。 一方で、新型コロナウイルスや全市的に進行する人口減少の影響もあり、一部目標（駅利用者数、駅周辺人口）は達成できていない。 今後は、整備した施設の有効活用やイベントの開催促進を図るとともに、次期計画により目標達成に向けた取り組みを進めていく。								
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	神戸電鉄沿線の活性化を図るため、今後も引き続き、駅前周辺整備の推進を図る。 ●駅前整備による利便性向上 ・駅前空間や公共施設の再整備等を行い、駅利用者の利便性を向上させる。 ●まちのにぎわいづくり ・整備した施設の有効活用やイベントの開催促進を図る。 ・都市構造再編集中支援事業と併せて関連事業（土地区画整理事業等）を進め、沿線の活性化を図る。								

※指標2「事業実施対象駅周辺の人口」に誤記あり。正しい数値は、従前値：74,375人→76,673人、目標値：74,375人→76,673人